

総合防災訓練

9/2の総合防災訓練は、『南海トラフ地震臨時情報が発令された』という設定で行いました。園庭避難、避難所（小長井公民館）への移動、避難生活（応急手当のやり方を見たり、防災食を食べたり）を行いました。8月中旬に台風が来たり『南海トラフ地震臨時情報』が発令されたことで、子どもたちは、職員の話をよく聞いて行動することが出来ました。職員も災害時にとる行動を確認し、もしもの事態に備えていきたいと思っています。

保護者の方にも『災害伝言ダイヤル 171』体験、引き渡し訓練に参加していただきありがとうございました。事前に知らせてはいなかったのですが9時頃、hugnoteも配信しました。園からのお知らせは、hugnoteが主となりますので、普段から気にかけていただけたらと思います。



～義務教育学校との取り組み その2～

今月、保育園で作成した接続カリキュラム（アプローチカリキュラム）を完成させ、学校側で作成した接続カリキュラム（スタートカリキュラム）とすり合わせを行っていき徐々に年長児の活動に取り入れていく予定です。

小学校学習指導要領等において、幼児期から高等学校にまたがり、共通して育てるものが次の3つです。

1、知識及び技能 2、思考力・判断力・表現力 3、学びに向かう力・人間性等
保育園では、遊びにおける学びの中で、その基礎を育てています。

例えば、下の砂遊びの様子では、上段は子どもたちが経験していること、下段は経験したことにより育っていること・力を記してあります。

こういう姿に育って欲しい、その他にこの経験ができるように、保育士は使うものを吟味し、用意をし、関わっています。

・水や砂の感触の気持ちよさを感じる



・実際に触れ、五感で感じる
・豊かな感性

・道、トンネルを壊さないように歩く
・砂が崩れないように力を加減する
・水を運ぶ



・自分の体をコントロールする力
・バランス感覚

・道具（シャベル、筒、水を運ぶもの）の扱い方・利用の仕方を知る
・濡れていない砂は、サラサラして崩れやすい
・砂は濡らすと色が変わり、形が作りやすい。



・物の形や性質を知る

・筒は何本欲しいかな？数を数える
・水はどの位あると流れるかな？



・数量の感覚、関心を持つ



・水はどうやったら流れる？
・作りたい方向へ水の道を作るには？
・トンネルが崩れたらどうやってなおす？
・泡が出来る面白さ、どうしてできる？など考え、やってみる。うまくいかなくても諦めず、根気よく繰り返す。



・予想する、イメージする、自分で考えて工夫する等の思考力
・うまくいかなくても諦めずやろうとする力、根気

・友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の思いを聞く、折り合いをつける、受け入れる
・思いを共有する



・自分なりの言葉で表現する
・体験を通じてイメージや言葉を豊かにする
・友だちのアイディアから、より良いものにしていくとする